

スポーツ・健康科学部・教育研究上の目的及び3つのポリシー

教育研究上の目的

スポーツ・健康科学部は、本学の建学精神とその教育理念に基づき、国民の健康の維持と増進を視野に、スポーツを通して文化の発展と健康づくりに貢献できる人材の育成、医学・健康関連分野で健康の増進に寄与できる人材の育成を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

スポーツ・健康科学部は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（スポーツ科学、健康科学または看護学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) スポーツ科学・健康科学・看護学分野の基礎知識・理論の総合的な理解とともに、専門知識と実践的スキルを習得している。
- (2) 幅広い教養を身につけることにより、広い視野からスポーツ科学・健康科学・看護学を実践的に役立てることができる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 他者に対し常に思いやりの心を持ち、責任感と倫理観に基づいて思考・判断・行動することができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) スポーツの振興、健康の保持・増進といった社会的使命を認識して、社会貢献・地域貢献の一環としてスポーツ科学・健康科学・看護学を社会に役立てることができる。
- (2) 自己のキャリアを切り開いていく強い意欲を持つとともに、社会の動向に深い関心を持ち、社会の発展のために自身の能力を役立てるという使命感を有している。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 社会における多様性を受容することができ、かつ尊重し適応することができる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

スポーツ・健康科学部（スポーツ科学科・健康科学科・看護学科）は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1) 全学共通科目の履修により様々な分野を学修することで、幅広い教養を修得するとともに豊かな人間性を養う。
- (2) 外国語科目として、1～2年次において英語を必修とするとともに、選択科目として中国語、韓国語、フランス語及びドイツ語を選択する。さらに各学科において、教育課程の方針に応じた外国語教育の科目を開講する。これらを通じて、異文化への理解を促すとともに外国語コミュニケーション能力および国際性を養う。
- (3) 初年次および2年次において、大学生としての基本的知識・技能と各学科の専門分野を学ぶための基礎的能力の養成、ならびにリメディアル教育あるいはキャリア教育のために、各学科独自の科目

を開講する。

- (4) 専門教育科目について、各学科はそれぞれスポーツ科学・健康科学・看護学の専門性に応じて、おもに 1 年次・2 年次にて基礎的な科目群を学修し、年次進行とともに発展的な科目群について講義による授業形態に加えて、実技・演習・実習形態の授業により学修するように体系的なカリキュラム構成となっている。
- (5) スポーツ科学・健康科学・看護学の分野における各種資格に必要な科目群を、年次進行に合わせて配置する。

2. 教育方法

- (1) 主体的な学びを促進するために、アクティブ・ラーニングおよび ICT を取り入れた授業を展開する。
- (2) 専門教育科目においては、各種実習・演習授業を通してより実践的な能力を修得させる。
- (3) 3 年次および 4 年次において、少人数制によるゼミナールを開講し、インタラクティブな教育を通じて、学生の主体的な学修を促進する。

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針に掲げた項目に関する形成的評価として、卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テストおよび学科の専門性に応じた各種テストなどを用いる。
- (2) 国家試験および各種資格試験受験者に関しては、4 年間の認知領域の学修成果について、それら試験の結果によって評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

スポーツ・健康科学部は、教育研究上の目的、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針に基づき、以下の能力を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) スポーツ科学・健康科学・看護学を学ぶための十分な基礎学力を有している。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 課題に取り組むにあたって、論理的に思考し、判断することができる。
- (2) 自分の考えを明確に表現するとともに、他者の意見に耳を傾けることができる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) スポーツ科学、健康科学、看護学に強い関心を持ち、高い意欲を持って学習に励むことができる。
- (2) 自分自身の人間性を成長させるべく、常に努力を怠らない姿勢を有している。